

# 議員提案政策条例の規定による施策等の実施状況及び成果に関する報告書

## 1 条例の基本事項

条例の名称	茨城県家庭教育を支援するための条例		
担当課（室）	生涯学習課	公布日	平成28年12月28日
報告の根拠	第21条（年次報告）		

## 2 条例の概要・施策体系図・推進体制等

### (1) 条例の概要・施策体系図

#### 目的【第1条】

- ・家庭教育支援の基本理念及び実現に必要な事項の制定
- ・家庭教育支援施策の総合的な推進
- ・保護者の成長及び子どもが親になるための学びの促進
- ・生活のために必要な習慣の確立、自立心の育成及び心身の調和のとれた発達に寄与

#### 基本理念【第3条】

- ・保護者が子どもの教育に第一義的責任を有する基本的認識
- ・県、市町村、祖父母、学校等、地域住民、地域活動団体、事業者その他関係者が、家庭の自主性を尊重しつつ、それぞれの役割を果たし、相互に協力しての一体的な取組
- ・一人一人の子どもの個性を尊重し、多様な家庭環境に配慮
- ・幼少期の教育が人格形成の基礎を培うため、家庭における小学校就学前の教育に重点

#### 県の責務【第4条】

- ・家庭教育支援施策の策定・実施
- ・関係者との連携・協働
- ・保護者及び子どもの障害の状況、保護者の経済状況、その他の家庭状況の多様性への配慮

#### 県の基本的施策

- ・親としての学びの支援【第12条】
- ・親になるための学びの推進【第13条】
- ・家庭における就学前教育の充実【第14条】
- ・幼稚園等に対する就学前教育の支援【第15条】
- ・人材養成等【第16条】
- ・多様な家庭環境に配慮した支援【第17条】
- ・相談体制の整備等【第18条】
- ・広報、啓発等【第19条】
- ・財政上の措置【第20条】
- ・年次報告【第21条】
- ・家庭教育を实践する日等【第22条】

#### 連携

#### 市町村との連携【第5条】

- ・情報の提供、助言その他必要な支援

#### 国との連携【第6条】

- ・国に対し必要な施策を要望

#### 保護者の責任及び役割【第7条】

- ・子どもの教育について第一義的責任を有することの自覚
- ・子どもに愛情をもって接すること、幼少期における子どもとの安定した愛情の形成及び定着
- ・子どもの個性の尊重、生活のために必要な習慣の確立、自立心の育成及び心身の調和のとれた発達
- ・自らの成長
- ・幼少期の家庭教育の充実
- ・学校等との連携及び協働

#### 祖父母の役割【第8条】

- ・子育てに関する知恵及び経験の活用
- ・保護者と連携しながら、家庭教育に対する支援及び協力

#### 学校等の役割【第9条】

- ・保護者、地域住民及び地域活動団体との連携
- ・県及び市町村の施策への協力

#### 地域住民及び地域活動団体の役割【第10条】

- ・保護者・学校等との連携
- ・地域環境の整備
- ・県及び市町村の施策への協力

#### 事業者の役割【第11条】

- ・従業員の仕事及び家庭生活との両立が図られるような雇用環境の整備
- ・県及び市町村の施策への協力

## (2) 条例制定後の主な取組

### 1 茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプランの策定

平成28年3月 「いばらき教育プラン」の策定

「子どもたちの自主性・自立性を育もう」をテーマとして掲げ、特に生涯にわたる人格形成の基礎を培う乳幼児期において、就学前教育・家庭教育の推進を最優先で取り組むこととした。

平成28年12月 「茨城県家庭教育を支援するための条例」が公布・施行

県民が一体となって、幼少期を中心とする家庭教育の方向が示された。

平成29年3月 「茨城県就学前教育・家庭教育推進ビジョン」を策定

就学前教育・家庭教育の目標や幼児期に育ててほしい子どもの姿などを示した。

平成30年3月 「茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプラン」を策定：33指標（うち再掲3）

「茨城県就学前教育・家庭教育推進ビジョン」で示した方向性を関係者間で共有し、社会全体で就学前教育及び家庭教育をより一層推進するための具体的な計画を示した。

令和4年3月 「茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプラン」（令和4～7年度）を策定（改定）：51指標（うち再掲16）

○計画期間：令和4年度から令和7年度まで（4か年）

○施策：①社会全体での就学前教育・家庭教育の推進

②幼児教育と小学校教育の円滑な接続

③家庭の教育力の向上

④個別的な配慮が必要な子どもへの支援

### 2 条例制定時に課題とされた事項に係る調査結果等（「茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプラン」の進捗状況調査より）

#### 【施策1】

○家庭教育推進協議会を設置している市町村の割合（単位：％）

	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
設置市町村	45.5	50.0	50.0	54.5	59.1	61.4

#### 【施策3】

○家庭教育支援チーム（文部科学省）の登録数（単位：団体）

	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
登録団体数	17	22	24	24	34	39

#### 【施策4】

○訪問型家庭教育支援に取り組む市町村数（単位：市町村）

	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
実施市町村数	12	17	17	21	23	26

### 3 条例の規定による事業等の実施状況及び成果並びに今後の取組

#### (1) 親としての学びの支援<第12条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>就学前教育・家庭教育推進事業</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>○就学前教育や家庭教育に関する動画を「就学前教育・家庭教育推進動画」として作成し、「家庭教育応援ナビ」に掲載して配信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 6月30日配信 「知って欲しい ヤングケアラー」</li> <li>・第2回 12月27日配信 「お子さんの気になる行動が見られるときには？」</li> <li>・第3回 3月11日配信 「幼児教育施設での遊びを通した学びとは？」</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>保護者や保育者、教員等に共有したいテーマや社会で話題となっているテーマの動画を作成することで、子育てに関する適切な情報を提供するとともに、就学前教育や家庭教育に取り組もうとする気運を醸成することができた。また、作成した動画を「家庭教育応援ナビ」に掲載するとともに、幼児教育施設や学校の協力を得て保護者へ周知することにより、より多くの保護者や保育者、教員に就学前教育や家庭教育の理解を図る機会を提供することができた。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)</p>	1,113千円 (県単)
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>就学前教育・家庭教育推進事業</p>	県	<p>「就学前教育・家庭教育推進動画」は「家庭教育応援ナビ」の「子育てに役立つマンガ・動画・資料」の動画と統合し、引き続き幼児・児童生徒の保護者だけでなく保育者、教員、地域住民等を対象に、就学前教育・家庭教育を推進する動画を作成・配信する。</p>	1,590千円 (県単)
<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>家庭の教育力向上プロジェクト事業</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>1 「家庭教育応援ナビ」による学びの機会と情報の提供</p> <p>マンガや動画、コラム、Q&amp;A、おすすめの本紹介、高校生が作成した子育てアニメーション、大学生の作成による子育て支援動画などを掲載</p>	1,023千円 (県単)

し、保護者の興味関心の高い内容でコンテンツの充実を図り、子育てや家庭教育に関する学びの機会と情報の提供に努めた。また、幼児教育関係者に対する研修情報の提供も行った。

- ・年間アクセス回数 370,607回
- ・コンテンツ

	名称	内容
1	子育てに役立つマンガ・動画・資料	保護者の体験談をもとに作成した4コマ漫画高校生が作成したアニメーションや大学生が作成した動画、専門家による講義動画・資料
2	子育て相談Q&A	専門家からのアドバイス
3	家庭教育コラム	各分野において活躍する方々からの子育てについてのメッセージ
4	おすすめの本紹介	年代別に優良図書を掲載、読み聞かせ支援者からの紹介図書
5	子育てに関する相談窓口	訪問型家庭教育支援、困った時の相談先、外部の子育てサイト等へのリンク
6	イベント・講座情報	各市町村や県の施設のホームページへのリンク
7	家庭教育支援資料モバイル版	子育てアドバイスブック「ひよこ」(0～6歳)、「クローバー」(就学前～小学4年)
8	子育てアドバイスブック・家庭教育支援資料PDF版	「ひよこ」、「クローバー」、「つばさ」(小学4年～6年)
9	子育てアドバイスブック外国語版	「ひよこ」、「クローバー」の英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、やさしい日本語版
10	家庭教育支援活動サークル・団体情報	県内の子育て支援団体の活動情報や連絡先を掲載
11	幼児教育関係研修情報	生涯学習課、義務教育課、子ども未来課主催の研修情報を一覧化
12	研修資料・教材	研修で使う資料の掲載。園内・校内研修や教材として利用できる動画や資料の提供
13	企業連携による教育力向上推進の取組	企業における家庭教育学級の実践事例を掲載
14	公式X (旧Twitter)	子育て情報を発信(フォロワー数1,182人)

## 2 家庭教育支援資料の活用

資料名	活用場面
○子育てアドバイスブック ひよこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や教員が、家庭教育学級、就学時健診、入学説明会、懇談会等に保護者へ提供する資料として活用</li> <li>・保育者や教員が、保幼小接続や家庭教育支援についての園内・校内研修を行う際に資料として活用</li> <li>・家庭教育推進員が、家庭教育学級を行う際に教材や補助資料として活用</li> </ul>
○子育てアドバイスブック クローバー	
○すくすく育てはじめの一步	
○家庭教育ブック ひよこ	
○家庭教育ブック	
○家庭教育ブック つばさ	

## 3 企業における家庭教育学級の実施

県内の4つの経済団体(茨城産業会議)と連携し、企業において家庭教育学級を実施した。また、保育者や小中学校教員に対し、家庭教育

		<p>の重要性や保護者理解を図るための研修会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施事業所数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業家庭教育学級</td> <td>131箇所</td> <td>4,120人</td> </tr> <tr> <td>園内・校内研修会</td> <td>36箇所</td> <td>1,086人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>167箇所</td> <td>5,206人</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>「家庭教育応援ナビ」に掲載している子育てマンガを本県出身のイラストレーターに作成を依頼し、保護者をはじめ多くの県民に、より親近感をもってもらえるようにした。また、高校生が作成した子育てアニメーションや大学生が作成した子育て支援動画を掲載することで、若い世代が「家庭教育応援ナビ」を知る機会となった。</p> <p>家庭教育関係研修の際には、子育てアニメーションや動画を投影し、家庭教育支援関係者への周知を図るとともに、各市町村の家庭教育学級で活用してもらえるように働きかけた。</p> <p>家庭教育学級や就学時健診、入学説明会、小学校での懇談会、企業における家庭教育学級においては、家庭教育支援資料の活用や「家庭教育応援ナビ」の周知をすることで、保護者をはじめ、県民に「家庭教育応援ナビ」を見てもらい、家庭教育力の向上に寄与することができた。</p> <p>今後も、「家庭教育応援ナビ」による学びの支援のための情報発信に努め、学校・家庭・地域・企業が一体となって社会全体で家庭教育を推進していく。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)</p>		実施事業所数	参加者数	企業家庭教育学級	131箇所	4,120人	園内・校内研修会	36箇所	1,086人	合計	167箇所	5,206人	
	実施事業所数	参加者数													
企業家庭教育学級	131箇所	4,120人													
園内・校内研修会	36箇所	1,086人													
合計	167箇所	5,206人													
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>就学前教育・家庭教育推進事業（統合）</p>	県	<p>個々の保護者に対して子育てに関する情報を提供するとともに、家庭教育の重要性を啓発するため、「家庭教育応援ナビ」や子どもの発達段階に応じた家庭教育支援資料を活用し、市町村やPTA等と連携・協力した家庭教育支援を実施する。</p>	1,590千円 (県単)												
<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>地域で支える家庭の教育力向上事業</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>家庭教育支援チームの登録が39チームとなり、家庭教育支援チームが各市町村において訪問型家庭教育支援や保護者への学びの場の提供などを行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>市町村名</th> <th>チーム数</th> <th>市町村名</th> <th>チーム数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水戸市</td> <td>3</td> <td>つくば市</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	市町村名	チーム数	市町村名	チーム数	水戸市	3	つくば市	5	10,675千円 (国補)				
市町村名	チーム数	市町村名	チーム数												
水戸市	3	つくば市	5												

		<table border="1"> <tr><td>ひたちなか市</td><td>1</td><td>守谷市</td><td>1</td></tr> <tr><td>常陸大宮市</td><td>1</td><td>稲敷市</td><td>1</td></tr> <tr><td>小美玉市</td><td>1</td><td>美浦村</td><td>1</td></tr> <tr><td>大洗町</td><td>1</td><td>河内町</td><td>1</td></tr> <tr><td>高萩市</td><td>1</td><td>古河市</td><td>1</td></tr> <tr><td>鹿嶋市</td><td>1</td><td>結城市</td><td>1</td></tr> <tr><td>潮来市</td><td>1</td><td>下妻市</td><td>1</td></tr> <tr><td>行方市</td><td>1</td><td>常総市</td><td>1</td></tr> <tr><td>鉾田市</td><td>1</td><td>筑西市</td><td>2</td></tr> <tr><td>土浦市</td><td>2</td><td>坂東市</td><td>3</td></tr> <tr><td>石岡市</td><td>1</td><td>桜川市</td><td>1</td></tr> <tr><td>取手市</td><td>2</td><td>五霞町</td><td>1</td></tr> <tr><td>牛久市</td><td>1</td><td>境町</td><td>1</td></tr> <tr><td colspan="2">合計</td><td></td><td>39</td></tr> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>訪問型家庭教育支援に取り組む2チームや、保護者支援に取り組む子育て支援団体3チームが新たに登録したことにより、県内半数以上の28市町村において、家庭教育支援チームによる保護者の相談への対応や、学びの場の機会や情報の提供を行うことができた。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)</p>	ひたちなか市	1	守谷市	1	常陸大宮市	1	稲敷市	1	小美玉市	1	美浦村	1	大洗町	1	河内町	1	高萩市	1	古河市	1	鹿嶋市	1	結城市	1	潮来市	1	下妻市	1	行方市	1	常総市	1	鉾田市	1	筑西市	2	土浦市	2	坂東市	3	石岡市	1	桜川市	1	取手市	2	五霞町	1	牛久市	1	境町	1	合計			39	
ひたちなか市	1	守谷市	1																																																								
常陸大宮市	1	稲敷市	1																																																								
小美玉市	1	美浦村	1																																																								
大洗町	1	河内町	1																																																								
高萩市	1	古河市	1																																																								
鹿嶋市	1	結城市	1																																																								
潮来市	1	下妻市	1																																																								
行方市	1	常総市	1																																																								
鉾田市	1	筑西市	2																																																								
土浦市	2	坂東市	3																																																								
石岡市	1	桜川市	1																																																								
取手市	2	五霞町	1																																																								
牛久市	1	境町	1																																																								
合計			39																																																								
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>地域で支える家庭の教育力向上事業</p>	県	<p>子育て経験者や教員OBなど地域の様々な人材で構成された「家庭教育支援チーム」が、訪問型家庭教育支援や保護者への学びの場の提供などを行うことにより、地域の実情に応じた家庭教育支援の取組の充実を図る。また、文部科学省への「家庭教育支援チーム」の登録により、地域における家庭教育支援に関する基盤づくりを推進する。</p>	14,523 千円 (国補)																																																								
<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>元気いばらきっ子育成事業</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>それぞれの施設の特性を生かし、宿泊体験、自然体験、防災教育体験等の各種体験活動を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">主な事業名</th> <th rowspan="2">事業数</th> <th colspan="3">参加者数(人)</th> </tr> <tr> <th>子ども</th> <th>保護者</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央青年の家</td> <td>子ども農業スクール チャレンジDAY キャンプ等</td> <td>11事業</td> <td>271</td> <td>115</td> <td>386</td> </tr> <tr> <td>白浜少年自然の家</td> <td>家族で宿泊学習 家族でウォークラリーを楽しもう等</td> <td>10事業</td> <td>392</td> <td>297</td> <td>689</td> </tr> <tr> <td>ばんどう太郎さしま少年自然の家</td> <td>東京ぶらり茨城歴史探訪2023 子供防災キャンプ等</td> <td>10事業</td> <td>242</td> <td>200</td> <td>442</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>31事業</td> <td>905</td> <td>612</td> <td>1,517</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症も5類に分類された</p>	施設名	主な事業名	事業数	参加者数(人)			子ども	保護者	合計	中央青年の家	子ども農業スクール チャレンジDAY キャンプ等	11事業	271	115	386	白浜少年自然の家	家族で宿泊学習 家族でウォークラリーを楽しもう等	10事業	392	297	689	ばんどう太郎さしま少年自然の家	東京ぶらり茨城歴史探訪2023 子供防災キャンプ等	10事業	242	200	442	合計		31事業	905	612	1,517	4,902 千円 (県単)																							
施設名	主な事業名	事業数				参加者数(人)																																																					
			子ども	保護者	合計																																																						
中央青年の家	子ども農業スクール チャレンジDAY キャンプ等	11事業	271	115	386																																																						
白浜少年自然の家	家族で宿泊学習 家族でウォークラリーを楽しもう等	10事業	392	297	689																																																						
ばんどう太郎さしま少年自然の家	東京ぶらり茨城歴史探訪2023 子供防災キャンプ等	10事業	242	200	442																																																						
合計		31事業	905	612	1,517																																																						

		<p>ため、各施設での事業が予定どおり実施できた。</p> <p>その結果、以前と同様に各施設で工夫を凝らした事業を実施し、子どもたちの多様な体験活動の充実と親子の触れ合いの機会を提供することができた。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課)</p>																																							
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>未来を担う青少年育成(アクティブ・チャレンジ)事業</p> <p>地域と施設をつなぐプラットフォーム構築事業</p>	県	<p>本事業については、令和5年度末をもって事業を終了した。令和6年度より、青少年教育施設(2か所)において、青少年の興味関心の多様化等に対応するため、身近な地域において、様々な生活・自然・社会体験ができる場や機会の拡充を図るとともに、子どもの野外体験活動に係る指導・支援を行う機会を提供する。</p>	7,182千円(県単)																																						
<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>県立青少年教育施設指定管理者提案事業</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">主な事業名</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="3">参加者数(人)</th> </tr> <tr> <th>子ども</th> <th>保護者</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央青年の家</td> <td>フレンドシップキャンプ～インクルーシブ教育～</td> <td>【親子】交流キャンプ</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>白浜少年自然の家</td> <td>行方市子ども会まつりin白浜</td> <td>【親子】チャレンジ活動 ニュースポーツ</td> <td>207</td> <td>226</td> <td>433</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ばんどう太郎さしま少年自然の家</td> <td>手ぶらでひよこキャンプ</td> <td>【子ども】遊び活動 テント泊 【保護者】家庭教育支援プログラム 【親子】野外炊飯 創作活動等</td> <td>38</td> <td>41</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>ほかほかさしまで家族めし</td> <td>【親子】調理</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>270</td> <td>291</td> <td>561</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>体験を重視した親子活動を行うことにより、親子が触れ合い、絆を深めることができた。また、他の家族と一緒に活動し、保護者同士が情報交換をして交流することにより、子育ての不安を軽減することができた。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課)</p>	施設名	主な事業名	内容	参加者数(人)			子ども	保護者	合計	中央青年の家	フレンドシップキャンプ～インクルーシブ教育～	【親子】交流キャンプ	10	9	19	白浜少年自然の家	行方市子ども会まつりin白浜	【親子】チャレンジ活動 ニュースポーツ	207	226	433	ばんどう太郎さしま少年自然の家	手ぶらでひよこキャンプ	【子ども】遊び活動 テント泊 【保護者】家庭教育支援プログラム 【親子】野外炊飯 創作活動等	38	41	79	ほかほかさしまで家族めし	【親子】調理	15	15	30	合計			270	291	561	1,226千円(県単)
施設名	主な事業名	内容				参加者数(人)																																			
			子ども	保護者	合計																																				
中央青年の家	フレンドシップキャンプ～インクルーシブ教育～	【親子】交流キャンプ	10	9	19																																				
白浜少年自然の家	行方市子ども会まつりin白浜	【親子】チャレンジ活動 ニュースポーツ	207	226	433																																				
ばんどう太郎さしま少年自然の家	手ぶらでひよこキャンプ	【子ども】遊び活動 テント泊 【保護者】家庭教育支援プログラム 【親子】野外炊飯 創作活動等	38	41	79																																				
	ほかほかさしまで家族めし	【親子】調理	15	15	30																																				
合計			270	291	561																																				
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>未来を担う青少年育成(アクティブ・チャレンジ)事業</p>	県	<p>県立青少年教育施設指定管理者提案事業の一部は、未来を担う青少年育成(アクティブ・チャレンジ)事業、地域と施設をつなぐプラットフォーム構築事業の中で実施する。(指定管理者の指定事業)</p>	—																																						

地域と施設をつなぐプラットフォーム構築事業																										
<p>【前年度の実施状況及び成果】</p> <p>県生涯学習センター指定管理者指定事業</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>○鹿行生涯学習センター事業</p> <table border="1" data-bbox="619 389 1257 882"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月23日</td> <td>地域連携協働事業創出事業 (JOBフェスタ)</td> <td>小学生の親子を中心に、キャリアに関する体験ブースや講座及びバザー、展示を実施する。</td> <td>延べ 1,422人</td> </tr> <tr> <td>11月18日</td> <td rowspan="4">現代的課題対策講座</td> <td>0歳から始まる性の育ち</td> <td rowspan="4">延べ 20人</td> </tr> <tr> <td>11月25日</td> <td>保育園・幼稚園・認定こども園に楽しく通うために</td> </tr> <tr> <td>12月2日</td> <td>小中高を楽しく通うための幼児期の接し方</td> </tr> <tr> <td>12月16日 午前</td> <td>小児科専門医と共に学ぶ ①</td> </tr> <tr> <td>12月16日 午後</td> <td>小児科専門医と共に学ぶ ②</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>幼児期における段階的な接し方や病気への対応方法を学ぶことにより、育児に対する不安の解消と学んだことを家庭・教育現場、地域の還元する方法について考える講座を提供することができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課)</p>	実施日	事業名	内容	参加者数	10月23日	地域連携協働事業創出事業 (JOBフェスタ)	小学生の親子を中心に、キャリアに関する体験ブースや講座及びバザー、展示を実施する。	延べ 1,422人	11月18日	現代的課題対策講座	0歳から始まる性の育ち	延べ 20人	11月25日	保育園・幼稚園・認定こども園に楽しく通うために	12月2日	小中高を楽しく通うための幼児期の接し方	12月16日 午前	小児科専門医と共に学ぶ ①	12月16日 午後	小児科専門医と共に学ぶ ②		—		
実施日	事業名	内容	参加者数																							
10月23日	地域連携協働事業創出事業 (JOBフェスタ)	小学生の親子を中心に、キャリアに関する体験ブースや講座及びバザー、展示を実施する。	延べ 1,422人																							
11月18日	現代的課題対策講座	0歳から始まる性の育ち	延べ 20人																							
11月25日		保育園・幼稚園・認定こども園に楽しく通うために																								
12月2日		小中高を楽しく通うための幼児期の接し方																								
12月16日 午前		小児科専門医と共に学ぶ ①																								
12月16日 午後	小児科専門医と共に学ぶ ②																									
<p>【今後の取組】</p> <p>県生涯学習センター指定管理者指定事業</p>	県	<p>県鹿行生涯学習センターにおいて、講座や交流会等を開催し、家庭教育における保護者への支援を図る。(指定管理者の指定事業)</p>	—																							
<p>【前年度の実施状況及び成果】</p> <p>県生涯学習センター指定管理者自主事業</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>○県北生涯学習センター事業</p> <table border="1" data-bbox="619 1480 1257 2056"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月13日 ～ 3月2日</td> <td>子どもの体験活動(親子のふれあい「わくわくらンド」)事業</td> <td>未就学児及び小学低学年の親子を対象に、工作、折り紙、バルーンアートやボードゲーム等を実施し、親子のコミュニケーションの促進や体験の機会とする。</td> <td>延べ 274人</td> </tr> <tr> <td>11月3日</td> <td>センターフェスティバル</td> <td>未就学児及び小学低学年の親子を対象に、様々な体験ブースを準備し興味関心のきっかけを作り、親子のコミュニケーションの機会とする。</td> <td>延べ 350人</td> </tr> <tr> <td>7月30日 ～ 8月27日</td> <td rowspan="2">プログラミング教室</td> <td>親子で楽しむスクラッチプログラミング</td> <td>延べ 84人</td> </tr> <tr> <td>1月7日 ～ 2月11日</td> <td>親子で楽しむmBotプログラミング</td> <td>延べ 27人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計</td> <td>735人</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;成果&gt;</p>	実施日	事業名	内容	参加者数	5月13日 ～ 3月2日	子どもの体験活動(親子のふれあい「わくわくらンド」)事業	未就学児及び小学低学年の親子を対象に、工作、折り紙、バルーンアートやボードゲーム等を実施し、親子のコミュニケーションの促進や体験の機会とする。	延べ 274人	11月3日	センターフェスティバル	未就学児及び小学低学年の親子を対象に、様々な体験ブースを準備し興味関心のきっかけを作り、親子のコミュニケーションの機会とする。	延べ 350人	7月30日 ～ 8月27日	プログラミング教室	親子で楽しむスクラッチプログラミング	延べ 84人	1月7日 ～ 2月11日	親子で楽しむmBotプログラミング	延べ 27人	合計			735人	—
実施日	事業名	内容	参加者数																							
5月13日 ～ 3月2日	子どもの体験活動(親子のふれあい「わくわくらンド」)事業	未就学児及び小学低学年の親子を対象に、工作、折り紙、バルーンアートやボードゲーム等を実施し、親子のコミュニケーションの促進や体験の機会とする。	延べ 274人																							
11月3日	センターフェスティバル	未就学児及び小学低学年の親子を対象に、様々な体験ブースを準備し興味関心のきっかけを作り、親子のコミュニケーションの機会とする。	延べ 350人																							
7月30日 ～ 8月27日	プログラミング教室	親子で楽しむスクラッチプログラミング	延べ 84人																							
1月7日 ～ 2月11日		親子で楽しむmBotプログラミング	延べ 27人																							
合計			735人																							



		<p>就学前の子どもたちとその保護者を対象とした事業を実施することで、親子の触れ合いの機会を提供し、家庭教育支援の充実を図ることができた。</p> <p>また、県北地域で選択肢が少なくかつ子どもたちの興味関心が高い体験活動を実施し、親子でのコミュニケーションを楽しみ、プログラミングや工作等の作業による学習を進めることで、家庭の教育力の充実に寄与することができた。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課)</p>																																											
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>県生涯学習センター指定管理者自主事業</p>	県	<p>県北生涯学習センターにおいて、講座や交流会等を開催し、家庭教育における保護者への支援を図る。(指定管理者の自主事業)</p>	—																																										
<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>県立青少年教育施設指定管理者自主事業</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中央青年の家</td> <td>はじめてのファミリーキャンプ</td> <td>テント泊 野外炊飯 ハイキング</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>地元の魅力再発見!</td> <td>筑波山登山をする中で、伝説や歴史を学ぶ</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">白浜少年自然の家</td> <td>家族でつりを楽しもう</td> <td>北浦湖畔での清掃活動 魚釣り体験</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>親子でチャレンジ! プログラミング体験教室</td> <td>プログラミングソフトの操作方法とゲーム制作体験 プログラミングによる自動車型ロボットの操作</td> <td>延べ 64人</td> </tr> <tr> <td>門松づくり</td> <td>正月に向けて門松を作る</td> <td>186人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ばんどう太郎さしま少年自然の家</td> <td>クッキングDAYキャンプ</td> <td>野外調理 創作活動</td> <td>延べ 195人</td> </tr> <tr> <td>家族キャンプ! テント泊</td> <td>テント泊 野外炊飯 プラネタリウム見学</td> <td>延べ 160人</td> </tr> <tr> <td>英語で遊ぼう</td> <td>英語体験活動、野外調理</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>秋空キャンプ</td> <td>テント泊、野外調理</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>リース作りにチャレンジ</td> <td>野外活動、創作活動</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計</td> <td>960人</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>宿泊や創作、自然体験など、親子が楽しく一緒に活動し、保護者が子どもの成長を感じたり、子どもが家族の一員としての役割を担ったりすることにより、家庭の教育力の充実に寄与することができた。(教育庁総務企画部生涯学習課)</p>	施設名	事業名	内容	参加者数	中央青年の家	はじめてのファミリーキャンプ	テント泊 野外炊飯 ハイキング	52人	地元の魅力再発見!	筑波山登山をする中で、伝説や歴史を学ぶ	5人	白浜少年自然の家	家族でつりを楽しもう	北浦湖畔での清掃活動 魚釣り体験	103人	親子でチャレンジ! プログラミング体験教室	プログラミングソフトの操作方法とゲーム制作体験 プログラミングによる自動車型ロボットの操作	延べ 64人	門松づくり	正月に向けて門松を作る	186人	ばんどう太郎さしま少年自然の家	クッキングDAYキャンプ	野外調理 創作活動	延べ 195人	家族キャンプ! テント泊	テント泊 野外炊飯 プラネタリウム見学	延べ 160人	英語で遊ぼう	英語体験活動、野外調理	37人	秋空キャンプ	テント泊、野外調理	94人		リース作りにチャレンジ	野外活動、創作活動	64人	合計			960人	—
施設名	事業名	内容	参加者数																																										
中央青年の家	はじめてのファミリーキャンプ	テント泊 野外炊飯 ハイキング	52人																																										
	地元の魅力再発見!	筑波山登山をする中で、伝説や歴史を学ぶ	5人																																										
白浜少年自然の家	家族でつりを楽しもう	北浦湖畔での清掃活動 魚釣り体験	103人																																										
	親子でチャレンジ! プログラミング体験教室	プログラミングソフトの操作方法とゲーム制作体験 プログラミングによる自動車型ロボットの操作	延べ 64人																																										
	門松づくり	正月に向けて門松を作る	186人																																										
ばんどう太郎さしま少年自然の家	クッキングDAYキャンプ	野外調理 創作活動	延べ 195人																																										
	家族キャンプ! テント泊	テント泊 野外炊飯 プラネタリウム見学	延べ 160人																																										
	英語で遊ぼう	英語体験活動、野外調理	37人																																										
	秋空キャンプ	テント泊、野外調理	94人																																										
	リース作りにチャレンジ	野外活動、創作活動	64人																																										
合計			960人																																										
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>県立青少年教育施設指定管理者自主事業</p>	県	<p>県立青少年教育施設において、子どもの自主性・自立性の育成を図るとともに、親子の触れ合いや絆を深める機会として、小中学生とその保護者等を対象としたテント泊や野外炊飯、創作活動などの各種体験活動等を実施する。(指定管理者</p>	—																																										

		の自主事業)															
【前年度の実施状況及び成果】 非行防止教室の実施	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>保育所 幼稚園</td> <td>小学校</td> <td>中学校</td> <td>高等 学校</td> <td>その他 学校等</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>実施 回数</td> <td>7回</td> <td>496回</td> <td>203回</td> <td>116回</td> <td>110回</td> <td>932回</td> </tr> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>非行防止教室において、インターネットの利便性の陰に潜む危険性やフィルタリングの重要性、薬物乱用の危険性や有害性を呼びかけることにより、少年の非行防止、健全育成を図ることができた。</p> <p>(警察本部生活安全部人身安全少年課 少年サポートセンター)</p>		保育所 幼稚園	小学校	中学校	高等 学校	その他 学校等	合計	実施 回数	7回	496回	203回	116回	110回	932回	—
	保育所 幼稚園	小学校	中学校	高等 学校	その他 学校等	合計											
実施 回数	7回	496回	203回	116回	110回	932回											
【今後の取組】 非行防止教室の実施	県	子どもや保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた非行防止教室(薬物乱用防止教室を含む。)を実施し、非行防止、健全育成を図る。	—														

(2) 親になるための学びの推進<第13条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]																																																							
			今年度 当初予算額 [千円]																																																							
【前年度の実施状況及び成果】 ライフデザイン形成支援事業・高校生のライフデザインセミナー	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>県内高等学校21校において赤ちゃんふれあい体験授業を開催した。また、令和2年度以降新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた外部講師によるライフデザインに関する講演について、令和5年度より再開し、県内高等学校4校で開催した。</p> <p>【赤ちゃんふれあい体験授業開催校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>実施日</th> <th>高等学校名</th> <th>参加者数</th> <th>実施団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9月11日</td> <td>土浦湖北高</td> <td>211人</td> <td>NPO法人ままとーん</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9月14日</td> <td>明野高</td> <td>5人</td> <td>子どもの未来を育む会</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9月27日</td> <td>小瀬高</td> <td>42人</td> <td>NPO法人水戸子どもの劇場</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>9月27日</td> <td>愛国学園大学附属龍ヶ崎高</td> <td>24人</td> <td>NPO法人ままとーん</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10月2日 10月3日</td> <td>那珂高</td> <td>145人</td> <td>NPO法人水戸子どもの劇場</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10月5日</td> <td>結城二高</td> <td>24人</td> <td>子どもの未来を育む会</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10月10日</td> <td>波崎柳川高</td> <td>69人</td> <td>NPO法人わくわくネット65</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>10月10日 10月12日</td> <td>東海高</td> <td>139人</td> <td>NPO法人水戸子どもの劇場</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>10月11日 10月12日</td> <td>筑波高</td> <td>96人</td> <td>NPO法人ままとーん</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>10月16日</td> <td>勝田工高</td> <td>13人</td> <td>NPO法人水戸子どもの劇場</td> </tr> </tbody> </table>	No.	実施日	高等学校名	参加者数	実施団体	1	9月11日	土浦湖北高	211人	NPO法人ままとーん	2	9月14日	明野高	5人	子どもの未来を育む会	3	9月27日	小瀬高	42人	NPO法人水戸子どもの劇場	4	9月27日	愛国学園大学附属龍ヶ崎高	24人	NPO法人ままとーん	5	10月2日 10月3日	那珂高	145人	NPO法人水戸子どもの劇場	6	10月5日	結城二高	24人	子どもの未来を育む会	7	10月10日	波崎柳川高	69人	NPO法人わくわくネット65	8	10月10日 10月12日	東海高	139人	NPO法人水戸子どもの劇場	9	10月11日 10月12日	筑波高	96人	NPO法人ままとーん	10	10月16日	勝田工高	13人	NPO法人水戸子どもの劇場	2,993千円 (国補)
No.	実施日	高等学校名	参加者数	実施団体																																																						
1	9月11日	土浦湖北高	211人	NPO法人ままとーん																																																						
2	9月14日	明野高	5人	子どもの未来を育む会																																																						
3	9月27日	小瀬高	42人	NPO法人水戸子どもの劇場																																																						
4	9月27日	愛国学園大学附属龍ヶ崎高	24人	NPO法人ままとーん																																																						
5	10月2日 10月3日	那珂高	145人	NPO法人水戸子どもの劇場																																																						
6	10月5日	結城二高	24人	子どもの未来を育む会																																																						
7	10月10日	波崎柳川高	69人	NPO法人わくわくネット65																																																						
8	10月10日 10月12日	東海高	139人	NPO法人水戸子どもの劇場																																																						
9	10月11日 10月12日	筑波高	96人	NPO法人ままとーん																																																						
10	10月16日	勝田工高	13人	NPO法人水戸子どもの劇場																																																						

		11	10月16日	竜ヶ崎二高	40人	NPO法人ままとーん	
		12	10月16日 10月17日	下妻二高	53人	子どもの未来を育む会	
		13	10月23日	鉾田二高	12人	NPO法人わくわくネット65	
		14	10月26日 11月21日	水戸三高	61人	NPO法人水戸こどもの劇場	
		15	10月30日 10月31日	緑岡高	253人	NPO法人水戸こどもの劇場	
		16	11月2日	真壁高	54人	子どもの未来を育む会	
		17	11月6日	常陸大宮高	45人	NPO法人水戸こどもの劇場	
		18	11月14日～ 11月16日	下妻一高	119人	子どもの未来を育む会	
		19	11月15日	古河一高定時制	24人	子どもの未来を育む会	
		20	11月16日	水海道二高	140人	NPO法人ままとーん	
		21	12月1日	藤代紫水高	241人	NPO法人ままとーん	
		合計			1,810人		
		<b>【外部講師による講演開催校】</b>					
		No.	実施日	高等学校名	参加者数		
		1	9月20日	日立一高	227人		
		2	11月14日	総和工高	105人		
		3	12月4日	坂東清風高	105人		
		4	12月14日	石岡二高	178人		
		合計			615人		
		<成果>					
		直接、赤ちゃんと触れ合う体験により、高校生に「子育てに良い印象が持てた」「子育ては楽しい」という意識を持ってもらうことができた。また、外部講師による講演において、「自分の人生を考えるきっかけになった」「子どもができれば子育てをしながら仕事をしたい」など、前向きな意識を醸成することができた。 (福祉部子ども政策局 少子化対策課)					
<b>【今後の取組】</b>	県	進学や就職等、自分の将来について考える時期である高校生を対象に、ライフデザインセミナーを開催することで、結婚や出産、子育てに対するポジティブな意識を醸成し、進学・就職後のライフデザインの形成を支援する。					4,020千円 (国補)
ライフデザイン形成支援事業・高校生のライフデザインセミナー							

### (3) 家庭における就学前教育の充実<第14条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
<b>【前年度の実施状況及び成果】</b>	県	<b>【再掲】</b> 事業概要、実施状況及び成果については、3ページ参照。	1,023千円 (県単)

家庭の教育力向上プロジェクト事業		(教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)													
<b>【今後の取組】</b> 就学前教育・家庭教育推進事業(統合)	県	<b>【再掲】</b> 今後の取組については、5ページ参照。	1,590千円 (県単)												
<b>【前年度の実施状況及び成果】</b> 元氣いばらきっ子育成事業	県	<b>【再掲】</b> 事業概要、実施状況及び成果については、6ページ参照。 (教育庁総務企画部生涯学習課)	4,902千円 (県単)												
<b>【今後の取組】</b> 未来を担う青少年育成(アクティブ・チャレンジ)事業 地域と施設をつなぐプラットフォーム構築事業	県	<b>【再掲】</b> 今後の取組については、7ページ参照。	7,182千円 (県単)												
<b>【前年度の実施状況及び成果】</b> 県立青少年教育施設指定管理者提案事業	県	<b>【再掲】</b> 事業概要、実施状況及び成果については、7ページ参照。 (教育庁総務企画部生涯学習課)	1,226千円 (県単)												
<b>【今後の取組】</b> 未来を担う青少年育成(アクティブ・チャレンジ)事業 地域と施設をつなぐプラットフォーム構築事業	県	<b>【再掲】</b> 今後の取組については、7ページ参照。	—												
<b>【前年度の実施状況及び成果】</b> 県生涯学習センター指定管理者自主事業	県	<実施状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水戸生涯学習センター</td> <td>就学前ふあみりい講座</td> <td>『『小学一年生』を安心して迎えるために』 「読書コミュニケーションで子育て不安を安心へ」</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>県北生涯学習センター</td> <td>プログラミング教室</td> <td>親子で楽しむスクラッチプログラミング</td> <td>延べ84人</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	事業名	内容	参加者数	水戸生涯学習センター	就学前ふあみりい講座	『『小学一年生』を安心して迎えるために』 「読書コミュニケーションで子育て不安を安心へ」	34人	県北生涯学習センター	プログラミング教室	親子で楽しむスクラッチプログラミング	延べ84人	—
施設名	事業名	内容	参加者数												
水戸生涯学習センター	就学前ふあみりい講座	『『小学一年生』を安心して迎えるために』 「読書コミュニケーションで子育て不安を安心へ」	34人												
県北生涯学習センター	プログラミング教室	親子で楽しむスクラッチプログラミング	延べ84人												

		ター		親子で楽しむmBotプログラミング	延べ 27人
			子どもの体験活動(親子のふれあい「わくわくランド」)事業	未就学児及び小学低学年の親子を対象に、工作、折り紙、バルーンアートやボードゲーム等を実施し、親子のコミュニケーションの促進や体験の機会とする。	延べ 274人
			センターフェスティバル	未就学児及び小学低学年の親子を対象に、様々な体験ブースを準備し興味関心のきっかけを作り、親子のコミュニケーションの機会とする。	延べ 350人
		鹿行生涯学習センター	レイクエコーサポート事業	芸術文化活動支援(展示)地域の幼稚園等の作品を展示	延べ 748人
		県西生涯学習センター	「乳幼児からの♪英語とふれあうリトミック&コンサート」	親子で触れ合ったり体を動かしながら、英語の曲や親しみのある音楽の生演奏を楽しむ。同じ世代の子どもを持つ保護者同士が交流できる場所を提供する。	14人
合計					1,531人
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>就学に向けて、保護者の関心が高まる時期に、保護者向け講座を開催し、小学校教育への理解を深めることができた。また、就学前の子どもたちとその保護者を対象とした事業を実施することで、親子の触れ合いの機会を提供し、家庭教育支援の充実を図ることができた。</p> <p style="text-align: center;">(教育庁総務企画部生涯学習課)</p>					
【今後の取組】	県	県生涯学習センターにおいて講座を開催し、家庭教育における保護者への支援、就学前教育の支援を図る。(指定管理者の自主事業)			—
県生涯学習センター指定管理者自主事業					

(4) 幼稚園等に対する就学前教育の支援<第15条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]								
			今年度 当初予算額 [千円]								
【前年度の実施状況及び成果】	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>1 市町村幼児教育担当者研修の開催</p> <p>市町村の幼児教育アドバイザー等(各市町村で保幼小の連携・接続に向けて中心的な役割を担う者)の資質向上のための研修や、管理職への理解推進を支援するための動画配信を行った。</p>	1,113千円 (県単)								
就学前教育・家庭教育推進事業		<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>会場等</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オンライン</td> <td>実践事例発表 「管理職や教職員全体へ保幼小接続への理解を広げるための取組」 グループ協議</td> <td>48人</td> </tr> </tbody> </table>	回	会場等	内容	参加者数	1	オンライン	実践事例発表 「管理職や教職員全体へ保幼小接続への理解を広げるための取組」 グループ協議	48人	
回	会場等	内容	参加者数								
1	オンライン	実践事例発表 「管理職や教職員全体へ保幼小接続への理解を広げるための取組」 グループ協議	48人								

		「各市町村の取組についての情報交換」	
2	オンライン	講義 「幼稚園等の教育で大切にしたいこと」 講義・演習 「保育者と小学校教員の相互理解を図り、接続カリキュラムの改善につなぐ」	62人
3	集合・教育研修センター	実践事例発表 「幼児教育推進体制の構築及び幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた各市町村の取組」 グループ協議 「実践事例集等を用いて各市町村の取組についての情報交換・意見交換」	48人
4	動画配信	講義（管理職向け研修動画） 「幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて～」 対象：幼児教育施設及び小学校の管理職	—
合計			158人

## 2 保幼小接続担当者研修の開催

公立小学校等の保幼小接続コーディネーター（幼児教育との連携・接続に向けて中心的な役割を担う者）及び幼児教育施設における園内リーダー（小学校教育との連携・接続に向けて中心的な役割を担う者）の資質向上のための研修を行った。

回	会場等	内容	参加者数
1	動画配信	講義 「幼児教育の理解と保幼小の接続の質の向上に向けて」 「保幼小接続の推進に向けて（県の事業を踏まえて）」	940人
2	動画配信	講義 「特別支援教育の視点から考える保幼小の連携・接続」 事業説明 「個別の教育支援計画を活用した引き継ぎについて」	1,064人
	集合・教育研修センター 集合・県南生涯学習センター	映像資料視聴・グループ協議 「映像資料をもとに、特別な配慮を必要とする子どもへの支援に関する保幼小の連携についての意見交換」 （協力者：特別支援学校巡回相談員）	86人 70人
3	オンライン（小学校教員対象）	講義 「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けて」 グループ協議 「小学校教育における架け橋期の取組について」	370人
4	事前動画配信	講義 「接続カリキュラムの実践・改善に向けて」	829人
	集合・教育研修センター	実践事例発表 「幼保小の架け橋期における取組」 グループ協議	100人
	集合・県南生涯学習センター	「接続カリキュラムの実践・改善に向けて」	77人

		<table border="1"> <tr> <td>一 集合・ 県西生 涯学習 センタ 一</td> <td></td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>3,573人</td> </tr> </table>	一 集合・ 県西生 涯学習 センタ 一		37人	合計		3,573人	
一 集合・ 県西生 涯学習 センタ 一		37人							
合計		3,573人							
		<p>3 「家庭教育応援ナビ」の活用による園内・校内研修支援</p> <p>「家庭教育応援ナビ」に、園内・校内研修等で活用できるよう、動画・資料及び、保幼小接続や幼児教育の質の向上に向けた資料を掲載した。</p> <p><b>【掲載資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前教育・家庭教育推進動画・資料</li> <li>・保幼小接続担当者研修資料</li> <li>・保幼小連携・接続実践事例集及び実践動画</li> <li>・保幼小接続カリキュラム</li> <li>・茨城の幼児教育</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>市町村幼児教育担当研修で管理職向けの研修動画を配信したことにより、市町村担当者が保幼小接続への理解を組織的に進める上での支援を行うことができた。</p> <p>保幼小接続担当者研修では、動画配信やオンライン研修により、取組の必要性について広く周知することができた。集合研修では、グループ協議により、特別な配慮を必要とする子どもへの支援や接続カリキュラム実践などをテーマに、互いの取組の改善に向けた方向性について意見交換し、共通理解を図ることができた。第2回には、特別支援学校の巡回相談員が協力者として保育者と教員の協議に参加したことにより、支援方法について専門的な視点から相談対応することができた。</p> <p>また、各市町村においても相互参観や合同研修会を設定するなど、保育者と小学校教員の相互理解に向けた取組が進んできている。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)</p>							
<b>【今後の取組】</b>	県	<p>就学前教育・家庭教育推進事業</p> <p>幼児期の教育の質の向上を図るとともに、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図るため、市町村や幼児教育施設、小学校において保幼小の連携・接続の中心となる人材を育成する。</p>	1,590千円 (県単)						
<b>【前年度の実</b>	県	<実施状況>	—						

<u>施状況及び成果】</u>  「すくすく育ていばらきっ子かるた」の活用		<table border="1"> <tr> <th>対象</th> <th>活用方法</th> </tr> <tr> <td>幼児教育施設</td> <td>・日常的な遊び（雨の日の室内遊びなど） ・生活科（昔からの遊び）</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>・学級の時間 ・休み時間 ・拡大して掲示（昇降口：くつをそろえる等）</td> </tr> <tr> <td>生涯学習センター 青少年教育施設</td> <td>・希望者や利用団体への貸出 ・図書情報コーナーでの利用</td> </tr> <tr> <td>NPO法人 等</td> <td>・かるた大会（放課後子ども教室等） ・レクリエーション</td> </tr> </table>	対象	活用方法	幼児教育施設	・日常的な遊び（雨の日の室内遊びなど） ・生活科（昔からの遊び）	小学校	・学級の時間 ・休み時間 ・拡大して掲示（昇降口：くつをそろえる等）	生涯学習センター 青少年教育施設	・希望者や利用団体への貸出 ・図書情報コーナーでの利用	NPO法人 等	・かるた大会（放課後子ども教室等） ・レクリエーション	
	対象	活用方法											
	幼児教育施設	・日常的な遊び（雨の日の室内遊びなど） ・生活科（昔からの遊び）											
	小学校	・学級の時間 ・休み時間 ・拡大して掲示（昇降口：くつをそろえる等）											
	生涯学習センター 青少年教育施設	・希望者や利用団体への貸出 ・図書情報コーナーでの利用											
NPO法人 等	・かるた大会（放課後子ども教室等） ・レクリエーション												
	<p>&lt;成果&gt;</p> <p>NPO法人の放課後子ども教室での「すくすく育ていばらきっ子かるた」を使用したかるた大会の開催をはじめ、幼児教育施設の日常的な遊びや、小学校の生活科等において活用を図った。それらを通して、子どもたちが基本的な生活習慣やマナーについて考えるきっかけづくりに寄与することができた。</p> <p>（教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室）</p>												
<u>【今後の取組】</u>  「すくすく育ていばらきっ子かるた」の活用	県	生活習慣や規範意識をテーマに、読み札（標語）を県民から募集して作成した「すくすく育ていばらきっ子かるた」について、幼児教育施設、小学校、NPO法人等での活用促進を図ることで、遊びを通して子どもたちの基本的な生活習慣や規範意識を育む。	—										
<u>【前年度の実施状況及び成果】</u>  家庭の教育力向上プロジェクト事業	県	<u>【再掲】</u> 事業概要、実施状況及び成果については、3ページ参照。  （教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室）	1,023 千円 （県単）										
<u>【今後の取組】</u>  就学前教育・家庭教育推進事業（統合）	県	<u>【再掲】</u> 今後の取組については、5ページ参照。	1,590 千円 （県単）										

**（5）人材養成等<第16条関係>**

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
<u>【前年度の実施状況及び成果】</u>  家庭の教育力	県	<実施状況> 家庭教育推進員を対象に、家庭教育学級で活用できるファシリテーションプログラム等を用いた専門的・実践的な研修を行った。	1,023 千円 （県単）



<p>向上プロジェクト事業</p>		<p>また、市町村において外国籍家庭の保護者からの相談が増加している現状から、対応できる支援員を育成するため、外国籍家庭支援員研修を行った。</p> <p>1 家庭教育推進員資質向上研修の開催</p> <table border="1" data-bbox="622 353 1257 712"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>会場等</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>集合・教育研修センター</td> <td>担当者説明 「家庭教育支援における県の現状」 講義 「家庭教育学級の進め方」 情報交換 「家庭教育学級を組み立てるうえでの工夫と課題」</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>集合・教育研修センター</td> <td>講義 「家庭教育学級の企画と実施方法」 情報交換 「家庭教育学級の実践に向けた工夫」</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>110人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 外国籍家庭支援員研修の開催</p> <table border="1" data-bbox="622 779 1257 1489"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>会場等</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>集合・教育研修センター</td> <td>講義 「外国籍家庭の保護者、家庭の現状、困り感の理解」 「外国籍家庭の保護者へのかかわり方」 事例研修 「文化の違いを理解し、対応するために」</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>集合・教育研修センター</td> <td>講義 「外国籍家庭向けの行政支援、手続き、相談窓口」 「支援員が困ったときの相談先」 事例研修 「行政支援、相談窓口の利用と関係機関との連携について」</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>集合・教育研修センター</td> <td>事例研修 「地域で外国籍の家族に対してできること」 講義 「不就学ゼロを目指して」</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>支援活動</td> <td>各市町村</td> <td>市町村での協力員としての活動 ・銚田市：家庭訪問による支援 ・常総市：就学時健康診断、入学説明会の場での支援</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>95人</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>家庭教育推進員資質向上研修では、家庭教育推進員がファシリテーターとして効果的なアイスブレイクやワークショップの方法など実践的な内容を学び、市町村の家庭教育学級等で活用することで、家庭教育支援の一助となった。</p> <p>外国籍家庭支援員研修では、支援活動希望者等が外国籍家庭及び保護者の現状や課題、行政担当課につなぐ方法等を学ぶとともに、事例研修での意見交換をおし、知識を深め、資質向上を図ることができた。また、受講生が「地域で支える家庭の教育力向上事業」に取り組む2</p>	回	会場等	内容	参加者数	1	集合・教育研修センター	担当者説明 「家庭教育支援における県の現状」 講義 「家庭教育学級の進め方」 情報交換 「家庭教育学級を組み立てるうえでの工夫と課題」	56人	2	集合・教育研修センター	講義 「家庭教育学級の企画と実施方法」 情報交換 「家庭教育学級の実践に向けた工夫」	54人	合計			110人	回	会場等	内容	参加者数	1	集合・教育研修センター	講義 「外国籍家庭の保護者、家庭の現状、困り感の理解」 「外国籍家庭の保護者へのかかわり方」 事例研修 「文化の違いを理解し、対応するために」	34人	2	集合・教育研修センター	講義 「外国籍家庭向けの行政支援、手続き、相談窓口」 「支援員が困ったときの相談先」 事例研修 「行政支援、相談窓口の利用と関係機関との連携について」	29人	3	集合・教育研修センター	事例研修 「地域で外国籍の家族に対してできること」 講義 「不就学ゼロを目指して」	22人	支援活動	各市町村	市町村での協力員としての活動 ・銚田市：家庭訪問による支援 ・常総市：就学時健康診断、入学説明会の場での支援	10人	合計			95人
回	会場等	内容	参加者数																																							
1	集合・教育研修センター	担当者説明 「家庭教育支援における県の現状」 講義 「家庭教育学級の進め方」 情報交換 「家庭教育学級を組み立てるうえでの工夫と課題」	56人																																							
2	集合・教育研修センター	講義 「家庭教育学級の企画と実施方法」 情報交換 「家庭教育学級の実践に向けた工夫」	54人																																							
合計			110人																																							
回	会場等	内容	参加者数																																							
1	集合・教育研修センター	講義 「外国籍家庭の保護者、家庭の現状、困り感の理解」 「外国籍家庭の保護者へのかかわり方」 事例研修 「文化の違いを理解し、対応するために」	34人																																							
2	集合・教育研修センター	講義 「外国籍家庭向けの行政支援、手続き、相談窓口」 「支援員が困ったときの相談先」 事例研修 「行政支援、相談窓口の利用と関係機関との連携について」	29人																																							
3	集合・教育研修センター	事例研修 「地域で外国籍の家族に対してできること」 講義 「不就学ゼロを目指して」	22人																																							
支援活動	各市町村	市町村での協力員としての活動 ・銚田市：家庭訪問による支援 ・常総市：就学時健康診断、入学説明会の場での支援	10人																																							
合計			95人																																							

		<p>市において協力員として外国籍家庭支援活動に参加することで、実際の活動を知り、市町村での外国籍家庭支援活動につなげることができた。研修終了後、市町村での支援活動希望者と、「地域で支える家庭の教育力向上事業」に取り組む市町村とのマッチングを実施し、次年度は、3市において、各1名が活動することとなり、多様化、複雑化する外国籍の保護者の悩みに対し、寄り添った支援の充実を図ることができる。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)</p>													
<p>【今後の取組】</p> <p>就学前教育・家庭教育推進事業（統合）</p>	県	<p>市町村やPTA等と連携・協力し、家庭教育を推進する人材の育成と活用により、個々の保護者に対して、子育てに関する情報提供や家庭教育の重要性を啓発することで、家庭の教育力の向上を図る。</p>	1,590千円 (県単)												
<p>【前年度の実施状況及び成果】</p> <p>地域で支える家庭の教育力向上事業</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>各市町村家庭教育支援担当者を対象に、講話や家庭教育学級等の企画運営についての実践発表、情報交換などを実施するとともに、各地域における取組の中核となる人材を対象に、家庭教育の現状や課題、支援の目的を理解するとともに、保護者と良好な関係を築き、保護者の思いに寄り添いながら、家庭教育を支援するための資質や技能を習得するための家庭教育関係基礎研修を行った。</p> <p>また、訪問型の家庭教育支援に取り組む市町村の体制の構築とその充実及び訪問型家庭教育支援員の資質向上を図るための訪問型家庭教育支援員資質向上研修を行った。さらに、令和5年度より、近隣市町村の訪問型家庭教育支援員の更なる交流と各市町村の実情に合わせた内容での研修を行うため、近隣市町村による合同研修を行った。</p> <p>1 市町村家庭教育支援担当者研修の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>会場等</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>集合・教育研修センター</td> <td>講義 「就学前教育の理解」 事業説明 情報交換 「家庭教育支援を活性化するための市町村担当者としての役割」</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>集合・地区別会場</td> <td>地区別による家庭教育学級の相互参観 【内容】</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table>	回	会場等	内容	参加者数	1	集合・教育研修センター	講義 「就学前教育の理解」 事業説明 情報交換 「家庭教育支援を活性化するための市町村担当者としての役割」	46人	2	集合・地区別会場	地区別による家庭教育学級の相互参観 【内容】	50人	10,675千円 (国補)
回	会場等	内容	参加者数												
1	集合・教育研修センター	講義 「就学前教育の理解」 事業説明 情報交換 「家庭教育支援を活性化するための市町村担当者としての役割」	46人												
2	集合・地区別会場	地区別による家庭教育学級の相互参観 【内容】	50人												

		就学時健康診断、入学説明会など保護者が集まる機会に行われる家庭教育学級、PTAと連携して行った家庭教育学級、小学校での校内研修 【実施箇所】 5地区9市で実施	
3	集合・教育研修センター	講義 「地域で家庭教育支援を進めるために」 事例発表：小美玉市、桜川市 情報交換 「家庭教育学級の活性化に向けた市町村での工夫」	41人
合計			137人

## 2 家庭教育関係基礎研修の開催

回	会場等	内容	参加者数
1	動画配信	講義 「家庭教育の現状・課題と家庭教育支援の意義」 「人権教育と守秘義務について」	414人
2	動画配信	講義 「性暴力から子どもを守るために」 「人を惹きつける話し方のコツ」 「傾聴を生かした保護者とのかわり方」	432人
合計			846人

## 3 訪問型家庭教育支援員資質向上研修の開催

回	会場等	内容	参加者数
1	集合・教育研修センター	講義 「支援員が家庭にアプローチする際の心構えと支援方法」 グループ協議	92人
2	集合・教育研修センター	事例検討と意見交換	68人
3	集合・各市会議室	近隣市町村による合同研修 ①下妻市・坂東市 講義とグループワーク ②石岡市・小美玉市 意見交換と事例検討	①13人 ②10人
合計			183人

### <成果>

市町村家庭教育支援担当者研修では、就学前教育の理解についての講話や、家庭教育支援の事例発表及び情報交換を通して、各市町村の取組の成果や課題を把握し、市町村における家庭教育支援施策に活かすことができた。また、市町村家庭教育担当者に対し、地区別研修会における他市町村の家庭教育学級の実践を参観することで好事例の共有ができ、市町村における家庭教育学級の活性化の一助とすることができた。

家庭教育の意義や現代的な課題（性暴力、保護者との関わり方等）についての講義をいつでも受講できるよう動画配信にしたため、訪問型家庭教育支援員をはじめ、多くの家庭教育支援関

		<p>係者が受講し、資質の向上を図ることができた。</p> <p>また、集合研修では、訪問型家庭教育支援員同士の情報交換の機会を設け、各市町村の現状や課題についての話し合いのほか、講義の時間も設けることにより、保護者に対する接し方を学び、その後の活動につなげることができた。</p> <p>近隣市町村による合同研修では、各市町村の実情に合わせた内容で研修を行うことができ、地域での訪問型家庭教育支援員同士の交流にも繋がった。</p> <p>さらに、これまで訪問型の家庭教育支援を実施していない市町村の家庭教育支援担当者にも参加を呼びかけ、本事業の周知に努めた。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)</p>	
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>地域で支える家庭の教育力向上事業</p>	県	<p>社会全体で家庭教育を支援する必要性を踏まえ、地域の人材を活用した訪問型家庭教育支援に取り組む市町村を支援する。</p>	14,523千円 (国補)
<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>PTA 指導者研修資料作成</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>PTA指導者研修資料の作成</p> <p><b>【掲載内容】</b></p> <p>1 研修テーマ「学校・家庭・地域社会の連携を担うPTA活動の在り方」</p> <p>— 青少年に豊かな人間性を培うために —</p> <p>2 研修内容及び話し合いのための具体的な項目</p> <p>(1) 幼稚園PTA</p> <p>(2) 小・中学校PTA</p> <p>(3) 高等学校PTA</p> <p>3 資料</p> <p>(1) 学習の方法</p> <p>(2) 家庭教育に関すること</p> <p>(3) スマートフォン・インターネット利用に関すること</p> <p>(4) いじめ防止に関すること</p> <p>(5) 福祉・生活に関すること</p> <p>(6) 茨城県警察からのお知らせ</p> <p>(7) 不安や悩みの相談に関すること</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>子どもを取り巻く昨今の課題である「生命(いのち)の安全教育」「少年犯罪防止」「ヘルメット着用の努力義務化」などの内容を追加して作成し</p>	—

		た。完成したPTA指導者研修資料を「家庭教育応援ナビ」に掲載し、学校、家庭、地域社会を結ぶPTA活動の在り方や、各地区研修で利用できる資料等について周知することで、PTA活動の充実を図り、保護者に家庭教育に関する学びの機会と情報の提供をすることができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)									
【今後の取組】 PTA 指導者研修資料作成	県	各幼児教育施設や小中学校、高等学校の単位PTAで指導的役割を果たしている者を対象とした研修会の資料を作成し、活用できるようにすることで、指導者の資質向上を図る。	—								
【前年度の実施状況及び成果】 県生涯学習センター指定管理者指定事業	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>○鹿行生涯学習センター事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月17日</td> <td>生涯学習ボランティアセンター事業</td> <td>ボランティアニーズの高い分野の研修「託児実践研修」</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>専門的知識を有する元幼稚園教諭等の講師やボランティア活動者からの専門的な講義の時間を設けることにより、幼児に対する接し方を学び、その後の活動につなげることができた。講演会の開催日に、託児ボランティアを活用できる仕組みを取り入れ、託児ボランティア実践の機会を提供することができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課)</p>	実施日	事業名	内容	参加者数	9月17日	生涯学習ボランティアセンター事業	ボランティアニーズの高い分野の研修「託児実践研修」	13人	—
実施日	事業名	内容	参加者数								
9月17日	生涯学習ボランティアセンター事業	ボランティアニーズの高い分野の研修「託児実践研修」	13人								
【今後の取組】 県生涯学習センター指定管理者指定事業	県	鹿行地域におけるボランティア活動の推進を図る中で、家庭や子どもを地域で支える取組を推進・強化するため、地域の人材を活用した託児ボランティア実践者の育成を支援する。	—								

#### (6) 多様な家庭環境に配慮した支援<第17条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 地域で支える家庭の教育力向上事業	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>1 市町村が抱える課題に応じた訪問型家庭教育支援の実施 (26市町村)</p> <p>H28～高萩市、坂東市 (H28～H30 国委託)</p> <p>H29～鹿嶋市、銚田市、美浦村、下妻市、境町</p> <p>H30～水戸市、行方市、石岡市、取手市、河内町</p> <p>R1～常陸大宮市、稲敷市、牛久市、筑西市、</p>	10,675千円 (国補)

五霞町

R3～小美玉市、結城市、桜川市、常総市

R4～大洗町（※）、潮来市

R5～ひたちなか市、土浦市、八千代町（※）

※支援体制構築の取組

市町村名		水戸市	常陸大宮市	小美玉市
支援員数		7人	5人	4人
支援の特徴		小1の子をもつ家庭への全戸訪問（小学校2校）、就学時健診・入学説明会と連携した支援、小1までの子をもつ保護者で希望した家庭への支援	3歳児健診・就学時健診と連携した支援、小中学生の子をもつ保護者で希望した家庭への支援	幼児・小学生の子をもつ保護者で希望した家庭への支援
全戸訪問	対象家庭数	47家庭	—	—
	直接会えた家庭数	41家庭	—	—
	延べ訪問回数	75回	—	—
保護者が集まる場での支援	対象家庭数	230家庭	359家庭	506家庭
	直接会えた家庭数	26家庭	11家庭	0家庭
個別支援	対象家庭数	25家庭	35家庭	5家庭
	延べ訪問回数	39回	12回	5回
	電話相談	0回	0回	0回
	メール、SNSでの相談	0回	0回	0回
改善状況	支援家庭数	64家庭	46家庭	5家庭
	改善が見られた家庭	60家庭	38家庭	5家庭
	改善率	93.8%	82.6%	100%

市町村名		高萩市	鹿嶋市	潮来市
支援員数		9人	9人	6人
支援の特徴		小1中1の子をもつ家庭へのアンケート結果による支援	小1の子をもつ家庭への全戸訪問	次年度小学校に入学する子をもつ家庭への全戸訪問
全戸訪問	対象家庭数	—	520家庭	178家庭
	直接会えた家庭数	—	368家庭	139家庭
	延べ訪問回数	—	587回	284回
保護者が集まる場での支援	対象家庭数	—	—	199家庭
	直接会えた家庭数	—	—	0家庭
個別支援	対象家庭数	10家庭	—	—
	延べ訪問回数	259回	—	—
	電話相談	0回	—	—
	メール、SNSでの相談	0回	—	—
改善状況	支援家庭数	10家庭	99家庭	102家庭
	改善が見られた家庭	4家庭	99家庭	102家庭
	改善率	40.0%	100%	100%

市町村名		行方市	銚田市	土浦市
支援員数		8人	4人	70人
支援の特徴		小1の子をもつ家庭への全戸訪問、小学生の子をもつ保護者で希望した家庭への支援	家庭教育学級・就学時健診・子育て世代包括支援センターと連携した支援、外国籍保護者のいる家庭への支援	次年度小学校に入学する子をもつ家庭へのアンケート結果による支援
全戸訪問	対象家庭数	202家庭	—	—
	直接会えた家庭数	130家庭	—	—
	延べ訪問回数	202回	—	—
保護者が集まる場での支援	対象家庭数	200家庭	—	949家庭
	直接会えた家庭数	0家庭	—	949家庭
個別支援	対象家庭数	—	36家庭	14家庭
	延べ訪問回数	—	58回	4回
	電話相談	—	134回	13回

	メール、SNSでの相談	—	42回	0回
改善状況	支援家庭数	8家庭	36家庭	28家庭
	改善が見られた家庭	8家庭	26家庭	28家庭
	改善率	100%	72.2%	100%

市町村名		石岡市	取手市	牛久市
支援員数		4人	6人	6人
支援の特徴		3歳児健診・就学時健診と連携した支援、幼児・小中学生の子をもつ保護者で希望した家庭への支援	小1の子をもつ家庭への全戸訪問（小学校7校）、小学校に転入した子をもつ保護者で希望した家庭への支援	外国籍保護者のいる家庭への支援
全戸訪問	対象家庭数	—	318家庭	—
	直接会えた家庭数	—	279家庭	—
	延べ訪問回数	—	616回	—
保護者が集まる場での支援	対象家庭数	500家庭	—	—
	直接会えた家庭数	500家庭	—	—
個別支援	対象家庭数	4家庭	—	17家庭
	延べ訪問回数	4回	—	113回
	電話相談	2回	—	20回
	メール、SNSでの相談	4回	—	83回
改善状況	支援家庭数	49家庭	14家庭	17家庭
	改善が見られた家庭	49家庭	14家庭	17家庭
	改善率	100%	100%	100%

市町村名		稲敷市	美浦村	河内町
支援員数		11人	4人	3人
支援の特徴		小中学生の子をもつ保護者で希望した家庭への支援、学校から要望のあった家庭への支援	不登校の中学生の子をもつ家庭への支援	次年度小学校に入学する子をもつ家庭への全戸訪問
全戸訪問	対象家庭数	—	—	32家庭
	直接会えた家庭数	—	—	27家庭
	延べ訪問回数	—	—	27回
保護者が集まる場での支援	対象家庭数	179家庭	—	32家庭
	直接会えた家庭数	5家庭	—	0家庭
個別支援	対象家庭数	15家庭	13家庭	—
	延べ訪問回数	184回	54回	—
	電話相談	22回	0回	—
	メール、SNSでの相談	21回	0回	—
改善状況	支援家庭数	20家庭	13家庭	27家庭
	改善が見られた家庭	10家庭	13家庭	27家庭
	改善率	50.0%	100%	100%

市町村名		結城市	下妻市	常総市
支援員数		4人	6人	8人
支援の特徴		就学時健診と連携した支援、0歳から中学生の子をもつ保護者で希望した家庭への支援	5歳児健診と連携した支援	外国籍保護者のいる家庭への支援
全戸訪問	対象家庭数	—	—	—
	直接会えた家庭数	—	—	—
	延べ訪問回数	—	—	—
保護者が集まる場での支援	対象家庭数	5,518家庭	330家庭	143家庭
	直接会えた家庭数	8家庭	37家庭	143家庭
個別支援	対象家庭数	3家庭	21家庭	5家庭
	延べ訪問回数	4回	30回	57回
	電話相談	0回	0回	0回
	メール、SNSでの相談	0回	0回	0回
改善	支援家庭数	9家庭	58家庭	5家庭

状況	改善が見られた家庭	8家庭	54家庭	5家庭
	改善率	88.9%	93.1%	100%
市町村名		筑西市	坂東市	桜川市
支援員数		7人	10人	5人
支援の特徴		小中学生の子をもつ保護者で希望した家庭への支援	不登校の小中学生の子をもつ家庭への支援	就学時健診と連携した支援、幼児・小中学生の子をもつ保護者で希望した家庭への支援
全戸訪問	対象家庭数	—	—	—
	直接会えた家庭数	—	—	—
	延べ訪問回数	—	—	—
保護者が集まる場での支援	対象家庭数	—	—	198家庭
	直接会えた家庭数	—	—	188家庭
個別支援	対象家庭数	11家庭	22家庭	3家庭
	延べ訪問回数	76回	111回	5回
	電話相談	0回	9回	0回
	メール、SNSでの相談	0回	15回	0回
改善状況	支援家庭数	11家庭	22家庭	191家庭
	改善が見られた家庭	5家庭	11家庭	191家庭
	改善率	45.5%	50.0%	100%

市町村名		五霞町	埴町	合計
支援員数		8人	8人	212人
支援の特徴		次年度小学校に入学する子をもつ家庭への全戸訪問、幼児・小中学生の子をもつ保護者で希望した家庭への支援	外国籍保護者のいる家庭への支援	
全戸訪問	対象家庭数	34家庭	—	1,331家庭
	直接会えた家庭数	34家庭	—	1,018家庭
	延べ訪問回数	35回	—	1,826回
保護者が集まる場での支援	対象家庭数	32家庭	19家庭	9,394家庭
	直接会えた家庭数	0家庭	16家庭	1,883家庭
個別支援	対象家庭数	8家庭	5家庭	252家庭
	延べ訪問回数	0回	6回	1,021回
	電話相談	8回	4回	212回
	メール、SNSでの相談	0回	0回	165回
改善状況	支援家庭数	9家庭	21家庭	864家庭
	改善が見られた家庭	9家庭	21家庭	804家庭
	改善率	100%	100%	93.1%

## 2 スーパーバイザーの派遣

市町村が実施する訪問型家庭教育支援において、特に困難な問題を抱える家庭への支援の充実を図るため、専門的な知識と経験をもつ家庭教育支援スーパーバイザーを市町村が開催するケース会議等に派遣して指導・助言を行った。

市町村名	内容 (回数)
水戸市	発達障害 (1回)、相談対応全般 (1回)
小美玉市	不登校 (1回)、発達障害 (1回)、相談対応全般 (2回)、協議会 (2回)
高萩市	相談対応全般 (1回)
潮来市	相談対応全般 (1回)
鉾田市	虐待 (1回)、外国籍 (3回)
石岡市	不登校 (2回)
取手市	外国籍 (1回)
牛久市	協議会 (1回)



結城市	不登校（1回）
下妻市	発達障害（1回）、相談対応全般（2回）
常総市	外国籍（1回）
筑西市	相談対応全般（1回）
坂東市	不登校（1回）
桜川市	不登校（1回）、相談対応全般（1回）
境町	外国籍（1回）、相談対応全般（1回）
合計	不登校（6回）、発達障害（3回）、外国籍（6回）、虐待（1回）、相談対応全般（10回）、協議会（3回） 計 29回

### 3 好事例集の作成

訪問型家庭教育支援をさらに充実させるため、事業を実施している市町村の効果的な支援や工夫した取組などを好事例集（11事例）としてまとめ、全市町村へ配布した。

（内容）

- ・育児不安を抱える保護者への支援
- ・不登校の子をもつ保護者への支援
- ・外国籍の保護者への支援

<成果>

事業を実施した26市町村において、それぞれの課題に応じて、訪問型の家庭教育支援体制を構築し、訪問型家庭教育支援員が保護者宅や市町村施設で、相談への対応や情報提供を行った。

保健福祉部局と連携した就学前の子どもをもつ家庭への支援（3歳児・5歳児健診）、不登校の子どもをもつ家庭への支援、外国籍保護者のいる家庭への支援、保護者が集まる場（就学時健診・入学説明会）での支援など、幅広い家庭教育支援を行い、「不登校の児童が学校・適応指導教室へ通えるようになった」「保護者の不安や悩みが解消した」など家庭の状況を改善することができた。

令和5年度は、保護者が集まる場での支援に取り組む市町村が増えたことに伴い、保護者への事業周知や、その場での相談対応を行うことができ、多くの保護者へ支援を行うことができた。そこから、個別の相談につながった事例もあったので、効果的な取組を行うことができた。

各市町のケース会議等にスーパーバイザーを派遣したことにより、訪問型家庭教育支援員の悩みや関係機関との連携について直接助言・指導を行うことができた。スーパーバイザーの派遣に当たり、活用方法を市町村へ提案した結果、

		<p>市町村からの依頼を前年度よりも15回増やすことができた。</p> <p>訪問型の家庭教育支援を実施していない市町村に対しては、各市町村の課題に応じた取組方法の提案や、好事例集を提供することにより、事業に対する市町村の理解が進み、取組市町村数が増えた。(令和6年度はさらに2市町増え、28市町村で実施予定。)</p> <table border="1" data-bbox="603 499 1241 660"> <tr> <td rowspan="4">改善率 (対象家庭の中で継続した支援を行った家庭のうち、状況が改善した家庭の割合)</td> <td>全体</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td>・子育て・学校生活の悩み</td> <td>97.6%</td> </tr> <tr> <td>・外国籍家庭</td> <td>85.3%</td> </tr> <tr> <td>・不登校</td> <td>56.1%</td> </tr> </table> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)</p>	改善率 (対象家庭の中で継続した支援を行った家庭のうち、状況が改善した家庭の割合)	全体	93.1%	・子育て・学校生活の悩み	97.6%	・外国籍家庭	85.3%	・不登校	56.1%	
改善率 (対象家庭の中で継続した支援を行った家庭のうち、状況が改善した家庭の割合)	全体	93.1%										
	・子育て・学校生活の悩み	97.6%										
	・外国籍家庭	85.3%										
	・不登校	56.1%										
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>地域で支える 家庭の教育力 向上事業</p>	<p>県</p>	<p>社会全体で家庭教育を支援する必要性を踏まえ、地域の人材を活用した訪問型家庭教育支援に取り組む市町村を支援する。</p>	<p>14,523千円 (国補)</p>									
<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>「いばらき教育の日・教育月間」シンポジウム</p>	<p>県</p>	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>○シンポジウムの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：ヤングケアラーを支える地域社会 ～子どもが子どもでいられるために～</li> <li>・日時：令和5年11月18日(土)</li> <li>・会場：石岡市中央公民館 大講堂</li> <li>・参加者：教員及び保護者をはじめとする県民の方</li> <li>・内容</li> </ul> <p>&lt;基調講演&gt;</p> <p>演題 「僕、ヤングケアラーでした。」 講師 徳井 健太(吉本興業所属・平成ノブシコブシ)</p> <p>&lt;パネルディスカッション&gt;</p> <p>コーディネーター 鈴木 もえみ(フリーアナウンサー)</p> <p>パネリスト 横須賀 聡子(NPO法人セカンドリーグ茨城理事長) 朝日 華子(茨城県SSW) 草地 学(茨城県PTA連絡協議会会長) 小澤 正明(茨城県福祉部福祉政策課副参事)</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>教員や保護者、行政職員を中心に198名が参加。参加者満足度は96%と高評価であった。</p> <p>ケアラー・ヤングケアラーについて、県民の知識・理解を深め、地域社会のつながり、および多様な家庭環境に配慮した家庭教育支援の重要性を認識することができた。</p>	<p>852千円 (県単)</p>									

		(教育庁総務企画部生涯学習課)	
【今後の取組】 「いばらき教育の日・教育月間」シンポジウム	県	県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して本県教育の充実と発展を図ることにより、豊かな心と確かな学力を備えた明日の茨城を担う子どもたちを育成するとともに、生涯にわたって自ら学び、郷土を愛し、地域社会の形成に主体的に参画する人づくりを進めるため、現代的教育課題をテーマにシンポジウムを開催する。	1,000千円 (県単)

(7) 相談体制の整備等<第18条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]	
			今年度 当初予算額 [千円]	
【前年度の実施状況及び成果】 地域で支える家庭の教育力向上事業	県	【再掲】 事業概要、実施状況及び成果については、21ページ参照。 (教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)	10,675千円 (国補)	
【今後の取組】 地域で支える家庭の教育力向上事業	県	【再掲】 今後の取組については、26ページ参照。	14,523千円 (国補)	
【前年度の実施状況及び成果】 いじめ・体罰解消サポートセンター(いじめ問題対策推進事業)	県	<実施状況> 1 「いじめ・体罰解消サポートセンター」の運営(各教育事務所) (1) 児童生徒・保護者が相談・情報提供できるホームページ「いじめなくそう! ネット目安箱」の設置 (2) 「いじめ解消サポート相談員」の配置 ・「いじめなくそう! ネット目安箱」等で寄せられた相談・情報は、市町村教育委員会等を通して学校へ連絡 ・学校は、寄せられた相談・情報について適切に対応 (3) 児童生徒・保護者向けの啓発 ・県教育委員会ホームページに掲載、茨城放送「みんなの教育」で広報 (4) 相談件数	1,806千円 (国補・県単)	
		いじめ相談	体罰相談 (疑いを含む)	合計

		<table border="1"> <tr><td>小学校</td><td>23件</td><td>0件</td><td>23件</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>27件</td><td>0件</td><td>27件</td></tr> <tr><td>その他</td><td>6件</td><td>9件</td><td>15件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>56件</td><td>9件</td><td>65件</td></tr> </table> <p>2 いじめ解消サポーター等による解消支援</p> <p>いじめ解消サポーター（警察OB、公認心理師、社会福祉士、部活動指導者OB、思春期の専門家）を派遣した。</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>小学校</td><td>中学校</td><td>連絡協議会</td><td>合計</td></tr> <tr><td>派遣回数</td><td>24回</td><td>59回</td><td>9回</td><td>92回</td></tr> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>いじめ・体罰解消サポートセンターには、いじめや体罰に関する相談が寄せられ、市町村立学校に関する相談に対しては、市町村教育委員会を通して各学校へ連絡し、対応をサポートすることができた。私立学校や県立学校に関しての相談については、関係各課に情報提供を行い、対応を依頼した。</p> <p>いじめ解消サポーターについては、教育事務所と市町村教育委員会が連携し、各学校の状況に応じて、警察OBや心理の専門家を派遣した。サポーターの専門性を生かし、児童生徒・保護者への支援と教職員への助言を行い、対応のサポートを行うことができた。</p> <p>（教育庁学校教育部義務教育課）</p>	小学校	23件	0件	23件	中学校	27件	0件	27件	その他	6件	9件	15件	合計	56件	9件	65件		小学校	中学校	連絡協議会	合計	派遣回数	24回	59回	9回	92回	
小学校	23件	0件	23件																										
中学校	27件	0件	27件																										
その他	6件	9件	15件																										
合計	56件	9件	65件																										
	小学校	中学校	連絡協議会	合計																									
派遣回数	24回	59回	9回	92回																									
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>いじめ・体罰解消サポートセンター（いじめ問題対策推進事業）</p>	県	<p>いじめ等を早期に発見し、市町村、学校及び専門家と連携して、早期対応を支援する。</p> <p>ホームページ上の「いじめなくそう！ネット目安箱」への書き込みやメールでの相談、電話・来所による相談対応を行う。</p>	1,806千円 (国補・県単)																										
<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>スクールカウンセラー配置事業</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>スクールカウンセラーの配置</p> <table border="1"> <tr><td>配置校数</td><td>752校 (小学校等441校、中学校等216校、高等学校95校)</td></tr> <tr><td rowspan="5">配置形態</td><td>小中学校等</td><td>年35週、週1回、1回あたり7時間</td></tr> <tr><td rowspan="4">高等学校</td><td>年32週、週1回、1回あたり4時間</td></tr> <tr><td>年32週、週1回、1回あたり3時間</td></tr> <tr><td>年29週、週1回、1回あたり3時間</td></tr> <tr><td>年25週、週1回、1回あたり3時間</td></tr> <tr><td></td><td>年20週、週1回、1回あたり3時間</td></tr> <tr><td></td><td>年15週、週1回、1回あたり3時間</td></tr> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>不登校事案では、児童生徒及び保護者と面談し、状況等を正確に把握することで、相談者の悩</p>	配置校数	752校 (小学校等441校、中学校等216校、高等学校95校)	配置形態	小中学校等	年35週、週1回、1回あたり7時間	高等学校	年32週、週1回、1回あたり4時間	年32週、週1回、1回あたり3時間	年29週、週1回、1回あたり3時間	年25週、週1回、1回あたり3時間		年20週、週1回、1回あたり3時間		年15週、週1回、1回あたり3時間	294,194千円 (国補・県単)												
配置校数	752校 (小学校等441校、中学校等216校、高等学校95校)																												
配置形態	小中学校等	年35週、週1回、1回あたり7時間																											
	高等学校	年32週、週1回、1回あたり4時間																											
		年32週、週1回、1回あたり3時間																											
		年29週、週1回、1回あたり3時間																											
		年25週、週1回、1回あたり3時間																											
	年20週、週1回、1回あたり3時間																												
	年15週、週1回、1回あたり3時間																												

		<p>みや不安を整理することができた。また、対応策等を話し合い、不登校状態の解消につなげることができた。</p> <p>いじめ事案では、被害者に寄り添い、面談を通じて心のケアを図りながら、支援体制の強化につなげることができた。</p> <p>教職員研修や児童生徒向け講演会を実施し、児童生徒のストレスマネジメントや教職員の対応力強化につなげることができた。</p> <p>(教育庁学校教育部義務教育課・高校教育課)</p>																	
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>スクールカウンセラー配置事業</p>	県	<p>いじめ、不登校等の児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見及び早期対応を図るため、公立小・中・高等学校等にカウンセリングに関し専門的な知識、経験を有するスクールカウンセラーを配置し、教育相談体制を充実させる。</p>	<p>301,172 千円 (国補・県単)</p>																
<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>教育相談事業</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>子どもの教育相談及び発達が気になる子どもの教育相談として、電話、来所相談を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>子どもの教育相談</th> <th>発達が気になる子どもの教育相談</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話相談</td> <td>1,352回</td> <td>316回</td> <td>1,668回</td> </tr> <tr> <td>来所相談</td> <td>411回</td> <td>169回</td> <td>580回</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,763回</td> <td>485回</td> <td>2,248回</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>職員や外部専門家による教育相談において、児童生徒及び保護者等の不登校や家庭での悩み、発達に関する悩み等についての話を丁寧に聴き、必要に応じて専門医による心の健康相談につないだり、知能検査を実施したりして、相談者の不安の軽減に努めるとともに、課題解決に向けて具体的に考える相談を進めた。その結果、相談者の気持ちや考えなどが整理され、精神的な安定を図ることや課題解決につなげることができた。</p> <p>(教育庁学校教育部高校教育課)</p>		子どもの教育相談	発達が気になる子どもの教育相談	合計	電話相談	1,352回	316回	1,668回	来所相談	411回	169回	580回	合計	1,763回	485回	2,248回	<p>7,327千円 (県単)</p>
	子どもの教育相談	発達が気になる子どもの教育相談	合計																
電話相談	1,352回	316回	1,668回																
来所相談	411回	169回	580回																
合計	1,763回	485回	2,248回																
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>教育相談事業</p>	県	<p>教育研修センターでの電話及び来所相談の充実を図り、不登校や情緒不安、いじめ、発達の遅れ等の悩みを抱える幼児児童生徒、保護者及び教職員等の相談に対応する。</p>	<p>7,807千円 (県単)</p>																
<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>早期教育推進</p>	県	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>盲学校、聾学校に、視聴覚障害児早期教育指導員を配置し、0歳から就学前の視聴覚障害児に対して発達を促す指導を行うとともに、その保護者に</p>	<p>7,967千円 (県単)</p>																

事業		対して望ましい親子関係づくりの支援を行った。																													
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>盲学校</td> <td>聾学校</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>延べ相談件数</td> <td>94件</td> <td>756件</td> <td>850件</td> </tr> </table> <p>&lt;成果&gt;  継続的な支援や相談を行うことで、保護者の障害に対する理解を深めることができた。また、サテライト教室での実施により、実施校から遠隔地に住む乳幼児とその保護者の移動に係る負担を軽減することができた。  (教育庁学校教育部特別支援教育課)</p>			盲学校	聾学校	合計	延べ相談件数	94件	756件	850件																				
	盲学校	聾学校	合計																												
延べ相談件数	94件	756件	850件																												
【今後の取組】 早期教育推進事業	県	視覚又は聴覚に障害のある乳幼児に対し、全体的な発達を促す指導を行うとともに、養育についての保護者の相談に対応する。 県内4箇所(サテライト教室(視覚障害1箇所、聴覚障害3箇所))を設置し、実施校から遠隔地に居住する乳幼児とその保護者を対象に、相談及び指導・支援を行う。	8,976千円(県単)																												
【前年度の実施状況及び成果】 少年非行防止活動の実施	県	<実施状況> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>電話相談</td> <td>メール相談</td> <td>面接</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>234件</td> <td>121件</td> <td>15件</td> <td>370件</td> </tr> </table> (相談内容内訳) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>非行問題</td> <td>学校問題</td> <td>家庭問題</td> <td>交友等</td> <td>犯罪被害</td> <td>健康問題</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>173件</td> <td>35件</td> <td>66件</td> <td>19件</td> <td>5件</td> <td>1件</td> <td>71件</td> <td>370件</td> </tr> </table> <成果> 相談に対する助言・指導を行ったほか、関係機関・団体と連携した継続的な相談に対応し、問題解決を図ることができた。 (警察本部生活安全部人身安全少年課 少年サポートセンター)		電話相談	メール相談	面接	合計	相談件数	234件	121件	15件	370件		非行問題	学校問題	家庭問題	交友等	犯罪被害	健康問題	その他	合計	相談件数	173件	35件	66件	19件	5件	1件	71件	370件	68千円(県単)
	電話相談	メール相談	面接	合計																											
相談件数	234件	121件	15件	370件																											
	非行問題	学校問題	家庭問題	交友等	犯罪被害	健康問題	その他	合計																							
相談件数	173件	35件	66件	19件	5件	1件	71件	370件																							
【今後の取組】 少年非行防止活動の実施	県	少年サポートセンターの少年相談コーナーにおいて、少年の非行問題、犯罪被害等に関する相談に対応し、問題解決、健全育成を図る。	68千円(県単)																												

(8) 広報、啓発等<第19条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 家庭の教育力	県	<実施状況> 1 「茨城県家庭教育を支援するための条例」の広報 (1) 「家庭教育応援ナビ」への条例バナーの掲載	1,023千円(県単)

<p>向上プロジェクト事業</p>		<p>「家庭教育応援ナビ」トップページに条例バナーを掲載し、閲覧者への周知を図った。</p> <p>(2) 周知活動</p> <p>条例ポスターやのぼり旗等の展示、チラシや広報物品の配布を通して、条例の周知や家庭教育の重要性等についての啓発を図った。</p> <table border="1" data-bbox="624 405 1257 629"> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常設展示</td> <td>教育研修センターや県立図書館、生涯学習センター、青少年教育施設、市町村、幼児教育施設、学校等でのポスターやのぼりの掲示</td> </tr> <tr> <td>イベントでの周知</td> <td>子育て支援団体が開催するイベントでの条例ポスターの掲示、条例広報物品や家庭教育支援資料の配付</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 情報誌への掲載</p> <p>就学前教育や家庭教育に関する参考情報などを月刊誌等へ提供し、幼児教育施設、小学校等に配布することで周知を図った。</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>「家庭教育応援ナビ」への条例バナーの掲載や常設展示、子育て支援団体と連携したイベント等での広報活動により、「茨城県家庭教育を支援するための条例」や家庭教育の重要性について周知することができた。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)</p>	方法	内容	常設展示	教育研修センターや県立図書館、生涯学習センター、青少年教育施設、市町村、幼児教育施設、学校等でのポスターやのぼりの掲示	イベントでの周知	子育て支援団体が開催するイベントでの条例ポスターの掲示、条例広報物品や家庭教育支援資料の配付	
方法	内容								
常設展示	教育研修センターや県立図書館、生涯学習センター、青少年教育施設、市町村、幼児教育施設、学校等でのポスターやのぼりの掲示								
イベントでの周知	子育て支援団体が開催するイベントでの条例ポスターの掲示、条例広報物品や家庭教育支援資料の配付								
<p>【今後の取組】</p> <p>就学前教育・家庭教育推進事業（統合）</p>	<p>県</p>	<p>「家庭教育応援ナビ」やイベント等において、家庭教育の重要性を啓発するとともに、子育てに関する情報を提供することにより、家庭教育支援に関する社会的気運の醸成に努める。</p>	<p>1,590千円 (県単)</p>						
<p>【前年度の実施状況及び成果】</p> <p>就学前教育・家庭教育推進事業【再掲】</p>	<p>県</p>	<p>【再掲】</p> <p>事業概要、実施状況及び成果については、3ページ参照。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)</p>	<p>1,113千円 (県単)</p>						
<p>【今後の取組】</p> <p>就学前教育・家庭教育推進事業</p>	<p>県</p>	<p>【再掲】</p> <p>今後の取組については、3ページ参照。</p>	<p>1,590千円 (県単)</p>						
<p>【前年度の実施状況及び成果】</p> <p>「いばらき教</p>	<p>県</p>	<p>&lt;実施状況&gt;</p> <p>各種広報媒体を活用し、生活習慣やしつけなど就学前教育や家庭教育の充実に向けた取組等を推奨した。</p>	<p>852千円 (県単)</p>						

育の日」推進事業		1 「いばらき教育の日」啓発活動の実施																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主な取組</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県関係</td> <td>薬物乱用防止教室、薬と健康週間の設定、スマホ活用術講座、親子映画鑑賞会</td> <td>482,982人</td> </tr> <tr> <td>市町村関係</td> <td>学童期子育て講座、家庭教育座談会、読み聞かせ会、親子体験教室</td> <td>646,813人</td> </tr> <tr> <td>学校関係</td> <td>保幼小連携交流活動、親子体験活動、キャリアデザイン教室、あいさつ運動</td> <td>1,146,402人</td> </tr> <tr> <td>民間団体</td> <td>親子コンサート、食育セミナー、防災講演会、地域清掃</td> <td>61,466人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>2,337,663人</td> </tr> </tbody> </table>		区分	主な取組	参加者数	県関係	薬物乱用防止教室、薬と健康週間の設定、スマホ活用術講座、親子映画鑑賞会	482,982人	市町村関係	学童期子育て講座、家庭教育座談会、読み聞かせ会、親子体験教室	646,813人	学校関係	保幼小連携交流活動、親子体験活動、キャリアデザイン教室、あいさつ運動	1,146,402人	民間団体	親子コンサート、食育セミナー、防災講演会、地域清掃	61,466人
区分	主な取組	参加者数																
県関係	薬物乱用防止教室、薬と健康週間の設定、スマホ活用術講座、親子映画鑑賞会	482,982人																
市町村関係	学童期子育て講座、家庭教育座談会、読み聞かせ会、親子体験教室	646,813人																
学校関係	保幼小連携交流活動、親子体験活動、キャリアデザイン教室、あいさつ運動	1,146,402人																
民間団体	親子コンサート、食育セミナー、防災講演会、地域清掃	61,466人																
合計		2,337,663人																
		2 「いばらき教育の日」推進協力事業所等の登録 ・登録企業数 256社 ・参加事業所数 1,755箇所 <成果> 様々な事業を実施した結果、県、市町村、学校関係において前年度を上回る参加者となり、家庭教育を含めた県民の教育に関する意識の高揚に寄与することができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課)																
【今後の取組】 「いばらき教育の日」推進事業	県	「茨城教育の日（11月1日）・教育月間（11月）」における県民の主体的な取り組みを促進し、社会全体で教育の重要性を再認識する契機とするため、普及啓発のための全県的な広報活動を展開するとともに、趣旨に賛同する民間企業の登録制度『「いばらき教育の日」推進協力事業所等登録制度（サポートカンパニー）」への登録を促進することにより、県民の教育に対する関心や意識の高揚を図る。	1,000千円（県単）															
【前年度の実施状況及び成果】 非行防止教室の実施	県	【再掲】 事業概要、実施状況及び成果については、10ページ参照。 （警察本部生活安全部人身安全少年課 少年サポートセンター）	—															
【今後の取組】 非行防止教室の実施	県	【再掲】 今後の取組については、10ページ参照。	—															

(9) 家庭教育を实践する日等<第22条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]



<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b></p> <p>「いばらき教育の日」推進事業</p>	<p>県</p>	<p><b>【再掲】</b></p> <p>事業概要、実施状況及び成果については、31ページ参照。</p> <p>(教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)</p>	<p>852 千円 (県単)</p>
<p><b>【今後の取組】</b></p> <p>「いばらき教育の日」推進事業</p>	<p>県</p>	<p><b>【再掲】</b></p> <p>今後の取組については、32ページ参照。</p>	<p>1,000 千円 (県単)</p>

#### 4 その他

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1 | 条例に関連する法令等の制定・改廃の動向<br>なし |
| 2 | 国・県における施策の見直し等の動向<br>なし   |
| 3 | 条例の運用上の課題<br>なし           |
| 4 | 条例の改廃の必要性の有無<br>なし        |
| 5 | その他<br>なし                 |